



自由民主党 絆の会通信

令和4年秋号 VOL.33



誇れる吹田を次世代へ

子育て・防犯防災・地域活性化
吹田市議会議員

沢田なおきの議会活動

吹田市議会 令和4年9月定例会

(9月定例会 令和4年9月1日～9月29日まで開会)

可決した主な議案

新型コロナワクチン (オミクロン対応)接種の実施

対象者 ワクチン接種を2回目以上完了したもの

接種期間 令和4年10月～令和5年3月(予定)

接種場所 地域の医療機関(約170か所)

予約方法 各医療機関に申し込み、コールセンター、WEB申し込み

※詳細は吹田市ホームページをご覧ください

高齢者インフルエンザ ワクチン接種の無償化

対象者 ①65歳以上
②60歳以上で心臓、腎臓、呼吸器の機能等に障がいを有する市民

接種期間 令和4年10月1日～12月31日

接種場所 地域の医療機関

予約方法 地域の各医療機関へ申し込み

電力・ガス・食料品等価格高騰 緊急支援事業

対象世帯 令和4年10月1日時点で住民税非課税世帯等

支給額 5万円

給付スケジュール

令和4年11月 ①確認書等を送付

令和5年 1月末 ②申請受付終了

同年 2月末 ③給付金支給完了

吹田市キャッシュレス キャンペーン第2弾

好評
実施中!

期間 令和4年10月17日～12月16日

付与上限 7,000円相当／1キャッシュレス決済事業者あたり

合計最大28,000円!

対象決済 auPAY、d払い、楽天Pay、ICOCA

※ICOCAは事前に利用登録が必要ですのでご注意ください！

(利用登録はスマホ及びJR駅の改札口にある券売機でお願いします。)

※その他のキャッシュレス決済のサポートはauショップやドコモショップでも行っています。

キャンペーンに関するお問い合わせ ➤ 0120-938-491 9:00～17:00(土日祝除く)
直通080-6118-0391(吹田まで)

吹田市議会議員(2期) 自由民主党

沢田なおき

【プロフィール】 関西学院大学法学部政治学科卒、関西学院大学経営戦略研究科 経営管理修士(MBA・自治体経営専攻)
地車の伝統文化を守り地域振興を図る議員連盟(通称 だんじり議連)会長、吹田市議会第78代副議長

市政相談受付中! メール、電話、SNS又は連絡事務所、会派控室まで、お気軽にご相談ください!

連絡用メール naokisawada2002@gmail.com

連絡事務所 〒564-0022 吹田市末広町2-9 FAX 06-7708-7966

連絡先 080-6118-0391(直通) 会派控室 〒564-0041 吹田市泉町1-3-40 吹田市役所中層棟3階(大体ここにいます)

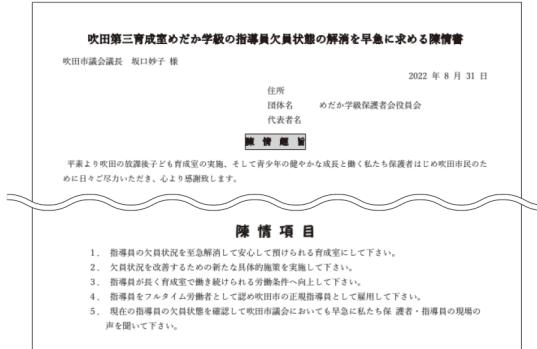
留守家庭児童育成室(学童保育)の諸課題について

※自民党代表質問より

質問① 夏休み等、長期休業中の育成室の開設時間の拡充をすべきでは? 保護者のニーズ調査はしているのか。また、開設時間拡充の今後の見込みは?

地域教育部長
答弁

実態調査は行っていないが、開室時間拡充の声は市にも届いている。指導員不足により、現在の職員体制では開設時間を早めることは困難。



質問② 令和4年度の待機児童の見込みは? 待機児童が発生した場合、そのしわ寄せは4年生にふりかかる。最終年度で卒室式もできずに育成室を去らなければならない。何らかの対策は考えているのか。



地域教育部長
答弁

児童数が年々増加しており、待機児童の数は今年度よりも増える。待機児童が発生する地域においては、太陽の広場の拡充などで児童の居場所づくりに努めて参る。

質問③ 現在の入室選考基準では週5で育成室を必要とされている方が利用できないケースがでてくるのでは。保護者がフルタイムであっても、習い事などで週2~3しか利用しないケースもある。こういった事態を防ぐためにも、保育所のように選考基準を細分化及び指数化してはどうか。



地域教育部長
答弁

各世帯の保育を必要とする程度をより詳細に把握することが重要であり、入室選考基準の細分化及び指数化の必要性は認識している。保育所や他市事例を参考にしながら検討を進める。

質問④ 吹田市の保育料は北摂近隣市や府内中核市と比較してかなり安い。安かろう悪かろうではなく、他市並みの利用料とするか、茨木市のように応能負担にすることで財源を確保し、施設の改修や備品の購入、業務効率化のためのDX化、職場環境向上等に活用してはどうか。



地域教育部長
答弁

今後、料金改定を実施する際には、子育て世帯の負担軽減に配慮しつつ、本市に見合った適正なものとなるよう検討する必要がある。

質問⑤ 指導員の充足率が定員の約2/3と圧倒的に足りない現状においても、保護者の求めるニーズは非常に高い。今後の児童数の推移を見ても、その乖離は簡単には埋められない。現状の指導員不足の根本原因はどこにあると市は考えているのか。民間委託だけでなく、保護者負担、選考基準、指導員の働く環境等、育成室事業を抜本的に見直す時期にきているのでは。



地域教育部長・
副市長答弁

保育の必要性が高い方がより優先して入室できるような選考基準の見直し等、保護者のニーズに応えられるよう、検討を進める。また、選考に漏れた4年生などはあらゆる手段を講じて対応をしていく。

沢田の
見解

保護者の高いニーズに応えるには、**指導員不足を解消することが先決**。市は民間委託を進めることにより、課題解決を図ろうとはしているが一向に改善されていない。今後、計画されている最大6か所の民間委託を早急に進める同時に、職員の待遇や職場環境も向上させる必要がある。市には現状改善のための抜本的な改善を求める。

